

のり海況速報 第3報 (27-3)

平成27年10月21日発行
千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 10/19：内湾(ふसानみ)、10/20：内房北部(ふसानみ)
関東・東海海況速報(10/8-21)、東京湾口海況図(10/8-21)
自動観測ブイデータ(10/8-21)、拓南観測データ(10/20)
モニタリングポスト(10/19：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(10/5)より約1℃低下し、おおむね20℃台になっています。塩分は30～31台で、ほぼ平年並みでした。(図1)。
- ・内房北部の表層水温も20℃台になっています。塩分は32～33台でした。
- ・内湾の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、水温は表層と底層の温度差がかなり小さくなっています。塩分は北部の底層付近まで33.5以上のやや高い水塊がみられています(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入はいまのところ少ないようです。

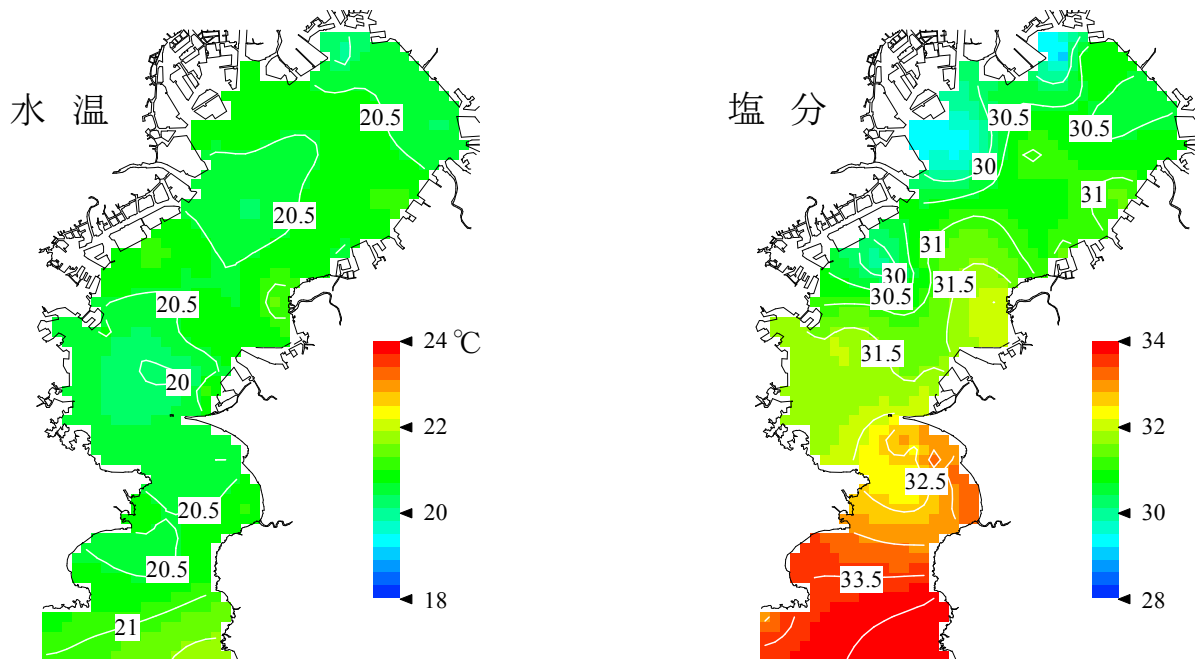


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年10月19-20日)

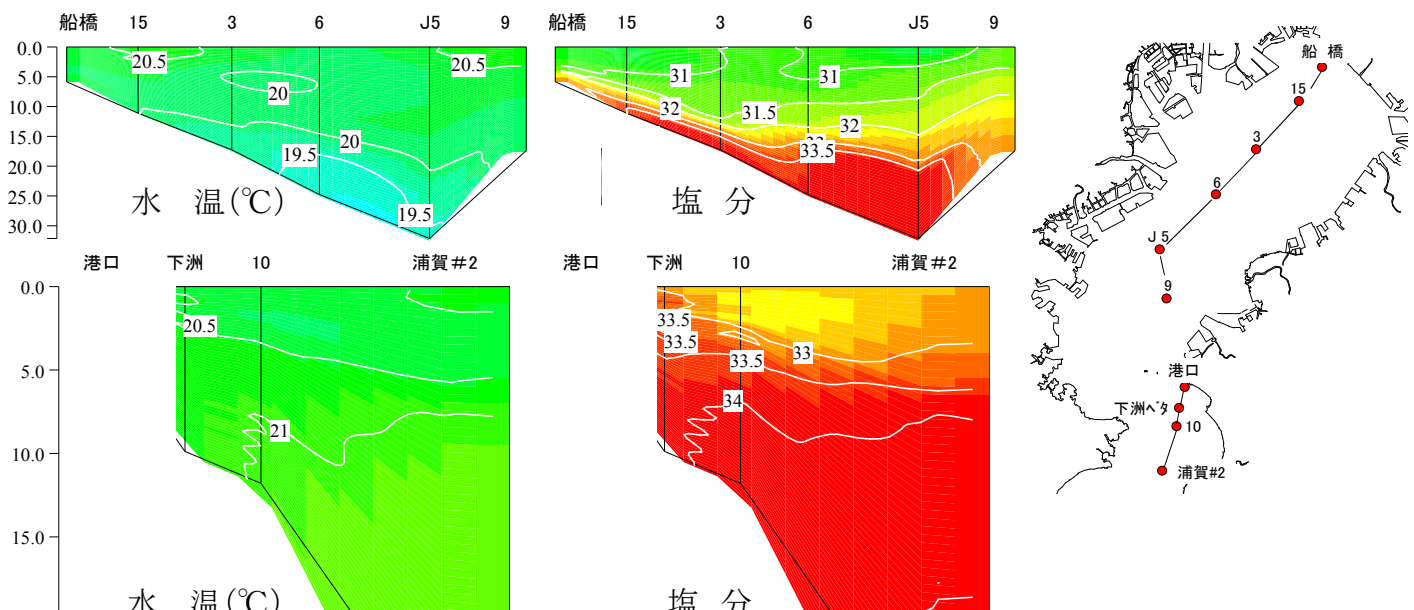


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 9月24-28日)
(上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮はアクアライン以北の海域で発生し、京葉シーバース付近ではpH8.5～8.6、透明度2m前後で、水色も褐色を呈する程のやや濃い状態でした。
- 優占種は渦鞭毛藻のケラチウムで、その他にケイ藻のスケルトネマがやや多くみられていました。
- 表層の栄養塩は窒素(D I N)・リン(D I P)とも内湾北部で少ないところがありますが、各地区のノリ漁場付近ではほぼノリ養殖にとって問題ない濃度まで回復しています(図3)。

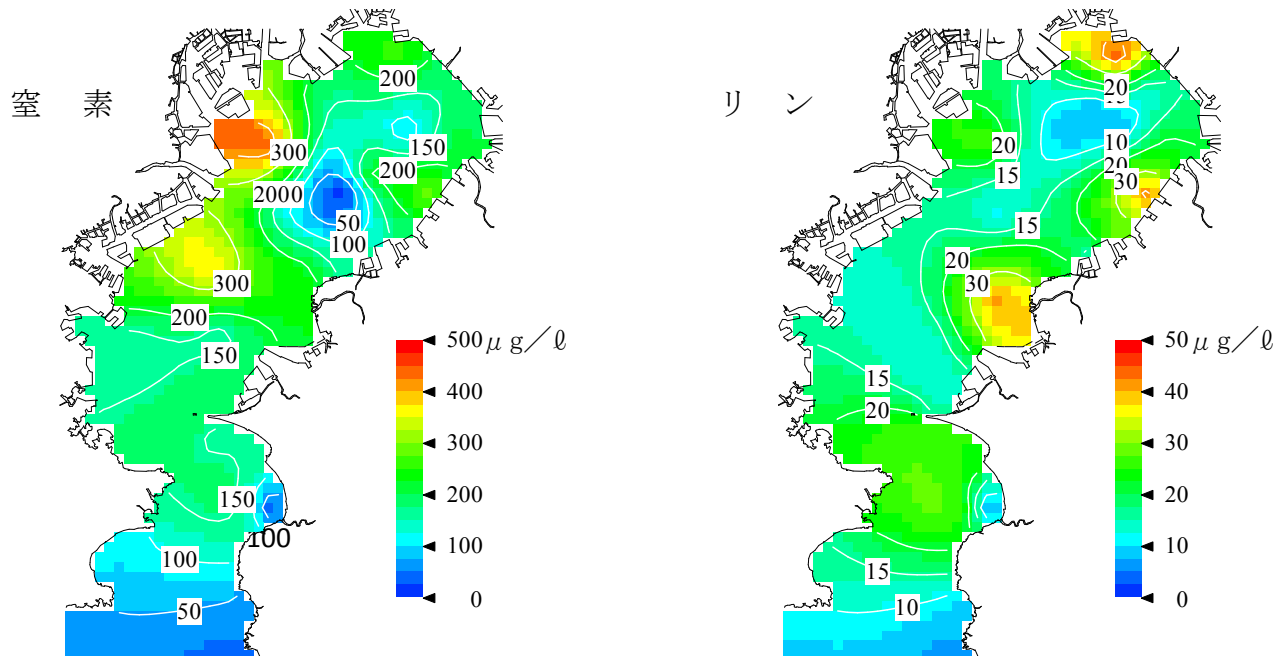


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年10月19-20日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html